

2023年6月8日

メットライフ生命保険株式会社

メットライフ生命、日本 MIT 会の記念イベント協賛 女子児童・生徒向けの STEM ワークショップ

メットライフ生命保険株式会社(代表執行役 会長 社長 最高経営責任者 デイルク・オステイン、以下「メットライフ生命」)は、マサチューセッツ工科大学(以下 MIT)の日本における同窓会である日本 MIT 会と東京工業大学が共催する女子児童・生徒向けの STEM ワークショップを協賛し、STEM 分野を志すきっかけづくりをサポートします。本ワークショップは MIT から初めて女性が卒業してから 150 周年を記念する一連のイベントとして開催され、当社も 2023 年 2 月に日本で営業開始から 50 周年を迎えた周年事業の一つとして、本ワークショップを通して、次の 50 年、100 年と将来を担う次世代の子ども達を応援いたします。



(左)日本 MIT 会 会長 ロメインさわか氏
(右)メットライフ生命 執行役 常務 チーフカスタマーオフィサー岩島洋吉(MIT 卒業生)

本ワークショップは、夏休み中の 2023 年 8 月 6 日に開催され、小学校 5、6 年生、中学 1 年生の女子児童・生徒 50 名が参加します。日本では高校 1 年生の冬に文理選択を決定することが多いため、将来の夢や目標、自身の可能性を広げるために早い段階で STEM 教育にふれることが重要といわれており、本ワークショップは参加者を 10 歳から 13 歳に限定しています。

2022 年 3 月にメットライフが発表した「2030 DEI コミットメント」は、2030 年までに達成するダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン(DEI)に関連する幅広いコミットメント多岐にわたる投資、商品、サービス、サプライチェーン、社員のボランティア活動、コミュニティ活動を通じて、サービスを十分にうけていない人たちのニーズに対応するための目標です。このコミットメントを日本で推進していくために、2023 年 1 月より IT 分野のジェンダーギャップ解消という社会課題の解決に取り組む NPO 法人 Waffle とパートナーシップを結び、当社の社員もメンターとして参加し、IT 人材育成に貢献しています。本イベントに Waffle は活動を紹介するブースを出展し、参加者に IT 分野への興味を喚起する機会を創出します。

今回の協賛について、メットライフ生命の執行役 常務 チーフコーポレートアフェアーズオフィサーであるポール・マイルズは次のように述べています。「生命保険業界でも IT やアクチュアリー（保険数理）、リスク、投資など理系の人材が重要な役割を担っていることから、当社では NPO 法人や地方自治体、教育機関など産官学で連携をはかり、STEM 人材育成と STEM 教育支援を積極的におこなっています。本イベントが参加者にとって、将来 STEM を学ぶきっかけになり、社会課題ともいえる理数系のジェンダーギャップ解消に貢献する一歩となることを期待しています。」

【STEM ワークショップ 開催概要】

開催日時:2023 年 8 月 6 日(日)10:00~15:00

会場:東工大蔵前会館 くらまえホール(東京都目黒区大岡山 2-12-1)

参加募集人数:50 名

参加費:無料

対象:小学校 5、6 年生および中学 1 年生の女子児童・生徒

イベント内容:ハンズオン STEM ワークショップ

イベント詳細:<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000005.000012264.html>

メットライフ生命について

メットライフ生命は日本初の外資系生命保険会社とし 1973 年に営業を開始し、現在は世界有数の生命保険グループ会社、米国メットライフの日本法人としてお客さまに常に寄り添い、最適な保障を選ぶお手伝いをしています。多様な販売チャネルを通じて、個人・法人のお客さまに対し幅広いリスクに対応できる、革新的な商品の提供に努めています。<https://www.metlife.co.jp/>

日本 MIT 会について

MIT に在籍した学部卒業生に加え、大学院における修士、博士号の取得者、教職者、ショートプログラム参加者からなりたっており、その会員数は 1,900 名と米国に次ぐ大きな組織となっています。MIT においてさまざまな経験をした人たちが交流を深め、MIT との繋がりを持ち続けながら社会に広く貢献することを目的とした組織です。ボランティア精神旺盛な理事、監事、評議員と事務局のメンバーで運営され、112 年の歴史を有しています。

<https://japan.alumclub.mit.edu/>